

令和6年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子ども家庭福祉

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「民法」の親権の効力に関する一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

第八百二十一条 親権を行う者は、前条の規定による(A)をするに当たっては、子の人格を(B)するとともに、その(C)の程度に配慮しなければならない。かつ、(D)その他の子の心身の健全な発達に有害な影響を及ぼす言動をしてはならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	懲戒	尊重	身体及び心理	体罰
2	懲戒	形成	身体及び心理	虐待
3	懲戒	尊重	年齢及び発達	体罰
4	監護及び教育	形成	年齢及び発達	虐待
5	監護及び教育	尊重	年齢及び発達	体罰

問2 次の文は、「未就園児等の把握、支援のためのアウトリーチの在り方に関する調査研究報告書」（2023（令和5）年3月 こども家庭庁設立準備室）の今後の取組の基本的な考え方に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 誰一人取り残さず、子どもの心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、幸福な生活を送ることができるよう、乳幼児期における「育ち」を切れ目なく保障することが重要である。
- B 全ての子どもの権利の擁護と将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会を実現していくために、社会全体で子育てを十分に支え、子どもの成長の喜びを社会も共に喜び合えることが重要である。
- C 保護者の就労状況などによって教育・保育給付の対象とならないことなどにより未就園となっている0～2歳児については、家庭外でも子ども同士や保護者以外の大人や社会資源と関わる機会を設けるようにする。
- D 3歳児以降は、保護者の就労の有無などに関わらず、すべての子どもが幼児教育・保育の無償化対象となっているため、未就園となっている状況等の把握の必要はない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問3 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

Mちゃんは5歳であり両親と住んでいるが、近々両親が離婚することとなった。離婚後は、父親が家を出て、Mちゃんは母親と生活する予定である。Mちゃんは両親のことが好きであり、離婚後も父親と会いたいと考えている。

離婚にあたり、父親は家を出た後も、Mちゃんと定期的に会いたいと考えており、母親はMちゃんの生活費や教育費などに見通しを立てたいと考えている。

このため、両親は、離婚後の生活について話し合いをもつこととなった。

【設問】

次の文のうち、離婚をする前に、両親が話し合うべき内容として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 離婚しても、父親・母親ともにMちゃんの親権があるため、親権について話し合う必要はない。
- B Mちゃんの養育費の金額、支払期間、支払時期、振込先などを具体的に決めておく。
- C 父親が行うMちゃんとの親子交流について、内容や頻度など具体的な条件を決めておく。
- D 養育費や親子交流について、Mちゃんの考えよりも両親の考えを優先する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問4 次の文は、わが国の母子保健に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「母子保健法」において、児童の保護者は、みずからすすんで、児童の身体的・精神的発達についての正しい理解を深め、児童の健康の保持・増進に努めなければならないと規定されている。
- 2 「母子保健法」において、都道府県及び市町村は、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に努めなければならないと規定されている。
- 3 「人口動態統計」によると、2022（令和4）年の乳児死亡率（出生千対）は10.0を超えている。
- 4 「健やか親子21（第2次）」で掲げられている重点課題とは、①生活の苦しさを感じる親に寄り添う支援、②妊娠期からの子育ての孤立化防止対策の2点である。
- 5 市町村に設置の努力義務があるこども家庭センターでは、母子保健に関する各種の相談に応ずる等、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことを目的とした事業を行うこととされている。

問5 次の文は、「2022（令和4）年 国民生活基礎調査の概況」（厚生労働省）についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 2001（平成13）年と2022（令和4）年の「世帯総数」を比較した場合、2022（令和4）年のほうが多い。
- 2 2001（平成13）年と2022（令和4）年の「平均世帯人員」を比較した場合、2001（平成13）年のほうが多い。
- 3 2022（令和4）年の「児童のいる世帯」と「児童のいない世帯」を比較すると、「児童のいない世帯」は80%以上である。
- 4 2022（令和4）年の「児童のいる世帯における母の仕事の状況」で「仕事あり」の世帯は70%以上である。
- 5 2021（令和3）年の「子どもの貧困率」は5%以下である。

問6 次の文は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和23年厚生省令第63号）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童自立支援施設における生活指導及び職業指導は、すべて児童がその適性及び能力に応じて、自立した社会人として健全な社会生活を営んでいくことができるよう支援することを目的として行わなければならない。
- B 乳児院における養育は、児童の自主性、社会性及び創造性を高め、もって地域における健全育成活動の助長を図るようこれを行うものとする。
- C 児童厚生施設における遊びの指導は、乳幼児の心身及び社会性の健全な発達を促進し、その人格の形成に資することとなるものでなければならない。
- D 児童養護施設における養護は、児童に対して安定した生活環境を整えるとともに、生活指導、学習指導、職業指導及び家庭環境の調整を行いつつ児童を養育することにより、児童の心身の健やかな成長とその自立を支援することを目的として行わなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問7 次のうち、「社会的養育の推進に向けて」（2023（令和5）年4月 こども家庭庁）で示している里親委託率（要保護児童に占める里親委託児童の割合）が一番低い国を一つ選びなさい。

- 1 日本
- 2 イタリア
- 3 イギリス
- 4 アメリカ
- 5 オーストラリア

問8 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

XはZ保育所に勤務する保育士である。Xは保育中、担当クラスの子どもに対し「泣き続ける子どもに長時間関わらず放置する」「感情のままに、大声で指示したり叱責する」「視線を合わせ、声をかけ抱き上げるなどのコミュニケーションをとらずに保育を行う」などの行為が見られた。Z保育所の園長はこれらの行為が望ましい保育ではないと感じXに確認したところ、Xからは子どもへ親しみを表しているつもりで行っていると説明があった。このため園長は、Z保育所の職員に対し日々の保育実践について振り返りを行うこととした。

【設問】

次の文のうち、日々の保育実践の振り返りの内容として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 日々の保育実践の振り返りにあたって、常に「子どもにとってどうなのか」という視点で考えること。
- B 職員間のミーティング等における対話を通じて保育の実践をとらえなおすこと。
- C 振り返りにあたって日々の保育に不安等があれば、巡回支援の場面などで、積極的に市町村等に相談を行う等、市町村等とのコミュニケーションを密にしていくこと。
- D 自治体などの作成するチェックリストやガイドラインを活用すること。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | ○ | × | ○ |
| 4 | ○ | × | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | ○ | ○ |

問9 次の文を、「こども未来戦略方針」（2023（令和5）年6月 閣議決定）の基本理念に関する記述として完成させる場合、（A）～（D）の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 親が働いていても、家にいても、全ての子育て家庭を（A 等しく）支援すること
- ・ 幼児教育・保育について、量・質両面からの強化を図ること、その際、待機児童対策などに一定の成果が見られたことも踏まえ、量の拡大から（B 質の向上）へと政策の重点を移すこと
- ・ これまで比較的支援が手薄だった、妊娠・出産期から0～2歳の支援を強化し、妊娠・出産・育児を通じて、全ての子育て家庭の様々な困難・悩みに応えられる（C 申請型）支援を強化するなど、量・質両面からの強化を図ること
- ・ 貧困の状況にある家庭、障害のあるこどもや医療的ケアが必要なこどもを育てる家庭、ひとり親家庭などに対して（D 優先順位をつけ）対応を行うこと

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問10 次の文は、子育てに関する支援機関等についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 家庭児童相談室は、福祉事務所が行う家庭児童福祉に関する業務のうち、専門的技術を必要とする業務を行う。
- B 地域子育て支援拠点事業とは、養育環境等に関する課題を抱える児童について、当該児童に生活の場を与えるための場所を開設し、情報の提供、相談及び関係機関との連絡調整を行うとともに、必要に応じて当該児童の保護者に対し、情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行う事業をいう。
- C 児童家庭支援センターは、地域の児童の福祉に関する各般の問題につき、児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じ、必要な助言を行う。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ |

問11 次の文は、「こども基本法」第2条第2項に規定される「こども施策」の定義である。(A)～(D)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律において「こども施策」とは、次に掲げる施策その他のこどもに関する施策及びこれと一体的に講ずべき施策をいう。

- 一 新生児期、乳幼児期、学童期及び思春期の各段階を経て、(A)になるまでの心身の発達の過程を通じて(B)行われるこどもの健やかな成長に対する支援
- 二 (C)を実感できる社会の実現に資するため、就労、結婚、妊娠、出産、育児等の各段階に応じて行われる支援
- 三 (D)における養育環境その他のこどもの養育環境の整備

【語群】

ア 断続的に	イ おとな	ウ こどもの育ちの喜び	エ 家庭
オ 地域	カ 切れ目なく	キ 子育てに伴う喜び	ク 社会人

(組み合わせ)

- A B C D
- 1 イ ア ウ エ
- 2 イ カ ウ オ
- 3 イ カ キ エ
- 4 ク ア ウ エ
- 5 ク カ キ オ

問12 次の文は、「こども大綱」（2023（令和5）年12月 閣議決定）で示された、政府におけるこども施策に関する基本的な方針である。（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ① こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な（ A ）を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る
- ② こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく
- ③ こどもや若者、子育て当事者の（ B ）に応じて切れ目なく対応し、十分に支援する
- ④ 良好な（ C ）を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする
- ⑤ 若い世代の（ D ）を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路（あいろ）の打破に取り組む
- ⑥ 施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	ライフスタイル	ライフステージ	社会環境	経済的安定
2	人格・個性	成長・発達	成育環境	生活の基盤の安定
3	ライフスタイル	成長・発達	社会環境	経済的安定
4	人格・個性	ライフステージ	成育環境	生活の基盤の安定
5	ライフスタイル	ライフステージ	社会環境	生活の基盤の安定

問13 次の文は、わが国の子ども家庭福祉の歴史に関する記述である。正しい記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 石井十次が「岡山孤児院」を創設したのは、岩永マキらが「浦上養育院」を創設したよりも後のことである。
- B 野口幽香と森島峰が「二葉幼稚園」を創設したのは、赤沢鍾美が「新潟静修学校付設託児所」を創設したよりも前のことである。
- C 留岡幸助が東京に「家庭学校」を創設したのは、「感化法」が制定されたよりも前のことである。
- D 糸賀一雄が「びわこ学園」を創設したのは、重症心身障害児施設（現在の障害児入所施設）が「児童福祉法」に基づく児童福祉施設に位置づけられたよりも後のことである。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問14 次の文は、わが国における保育所等及び放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の待機児童の状況に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

注) 「保育所等」とは、保育所、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園、地方裁量型認定こども園、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業及び居宅訪問型保育事業のことを指す。

- 1 「保育所等関連状況取りまとめ」（こども家庭庁）によると、2023（令和5）年4月1日現在の保育所等待機児童数は全国で3,000人を下回っている。
- 2 「保育所等関連状況取りまとめ」（こども家庭庁）によると、2023（令和5）年4月1日現在、都市部（埼玉・千葉・東京・神奈川・京都・大阪・兵庫の7都府県（指定都市・中核市含む））とその他の指定都市・中核市）の保育所等待機児童数の合計は、全体の約6割を占める。
- 3 「保育所等関連状況取りまとめ」（こども家庭庁）によると、2023（令和5）年4月1日現在の保育所等待機児童のうち、0歳児の割合は約4割である。
- 4 「令和5年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」（こども家庭庁）によると、2023（令和5）年5月1日現在の放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）待機児童数は15,000人を超えている。
- 5 「令和5年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」（こども家庭庁）によると、2023（令和5）年5月1日現在、埼玉・千葉・東京の3都県の放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）待機児童数の合計は、全体の約4割を占める。

問15 次の文は、児童福祉施設に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「里親支援センター」は、里親支援事業を行うほか、里親及び里親に養育される児童並びに里親になろうとする者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設である。
- B 「障害児入所施設」は、福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の2種類に区分される。
- C 「児童発達支援センター」は、地域の障害児の健全な発達において中核的な役割を担う機関として位置づけられ、福祉型児童発達支援センターと医療型児童発達支援センターの2種類に区分される。
- D 「助産施設」は、保健上必要があるにもかかわらず、医学的理由により、入院助産を受けることができない児童を入所させて、助産を受けさせることを目的とする施設である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問16 次の文は、子ども家庭福祉に関する事業についての記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 乳児家庭全戸訪問事業とは、一の市町村の区域内における原則として全ての乳児のいる家庭を訪問することにより、内閣府令で定めるところにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業をいう。
- B 病児保育事業とは、保育を必要とする乳児・幼児又は保護者の労働若しくは疾病その他の事由により家庭において保育を受けることが困難となった小学校に就学している児童であって、疾病にかかっているものについて、保育所、認定こども園、病院、診療所その他内閣府令で定める施設において、保育を行う事業をいう。
- C 児童育成支援拠点事業とは、内閣府令で定めるところにより、乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業をいう。
- D 親子再統合支援事業とは、内閣府令で定めるところにより、親子間における適切な関係性の構築を目的として、児童及びその保護者に対し、当該児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行う事業をいう。
- E 地域子育て支援拠点事業とは、養育環境等に関する課題を抱える児童について、当該児童に生活の場を与えるための場所を開設し、情報の提供、相談及び関係機関との連絡調整を行うとともに、必要に応じて当該児童の保護者に対し、情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行う事業をいう。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C E
- 5 D E

問17 次の文は、「こども家庭審議会」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A こども家庭審議会は、「こども基本法」に基づきこども家庭庁に置かれる。
- B こども家庭審議会の委員は、こども家庭庁長官が任命する。
- C 2024（令和6）年3月25日現在のこども家庭審議会の委員には、大学生が含まれる。
- D こども家庭審議会は、委員55人以内で組織する。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

問18 次の文は、少年非行に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 2022（令和4）年4月1日に成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、同年同日から「少年法」における「少年」の定義も18歳に満たない者に変更された。
- 2 「少年院法」に規定される少年院は、初等少年院、中等少年院、特別少年院、医療少年院の4種別である。
- 3 「少年法」では、家庭裁判所における保護処分の決定としては、「保護観察所の保護観察に付すること」、「児童養護施設又は児童家庭支援センターに送致すること」、「少年院に送致すること」の3つが定められている。
- 4 家庭裁判所の審判は非公開で行われるが、一定の重大事件の被害者等から審判の傍聴の申出があった場合、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮して、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときは、家庭裁判所は傍聴を許すことができる。
- 5 家庭裁判所の審判は、少年の非行事実に関する責任を追及し人格を非難することを旨として、非行のある少年に対し厳格な処罰を行うとともに、自己の非行について内省を促すものとしなければならない。

問19 次の文は、「児童虐待の防止等に関する法律」第2条、「児童虐待の定義」において示されている虐待行為に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童にわいせつな行為をすること又は児童をしてわいせつな行為をさせること。
- B 児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。
- C 児童に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力その他の児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。
- D 児童の財産を不当に処分することその他児童から不当に財産上の利益を得ること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問20 次の文を「児童の権利に関する条約」第3条の記述として完成させる場合、
(A) ~ (C) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい
組み合わせを一つ選びなさい。

- 1 児童に関するすべての措置をとるに当たっては、公的若しくは私的な社会福祉施設、
裁判所、行政当局又は立法機関のいずれによって行われるものであっても、(A 児童
の権利の保障) が主として考慮されるものとする。
- 2 締約国は、児童の父母、法定保護者又は児童について法的に責任を有する他の者の権
利及び義務を考慮に入れて、児童の福祉に必要な(B 教育及び資産)を確保すること
を約束し、このため、すべての適当な立法上及び行政上の措置をとる。
- 3 締約国は、児童の養護又は保護のための施設、役務の提供及び設備が、特に(C 安
全及び健康) の分野に関し並びにこれらの職員の数及び適格性並びに適正な監督に関し
権限のある当局の設定した基準に適合することを確保する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ |